

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M343A103	中国語 I (Chinese I)	融合人材育成科目 国際力強化科目群

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	1	前期	月・1	鈴木 晶 内線： E-mail : chenjing@nm.beppu-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

国際社会に対応するためにはコミュニケーションの手段としての語学が必要になってくる。この授業は中国語入門の授業であり、初めて中国語を学習する学生を対象とする。「中国語 I」では、中国語入門学習には難関となる「声調」をマスターし、正しい中国語の発音ができることを目指す。発音の学習以外、簡単な語彙や文法表現を身につける。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 中国語の発音ができる	○					
2. 中国語の「四声」ができる			○			
3. 挨拶言葉がしゃべることができる		○				
4. 自己紹介ができる		○				
5. 基本文法ができる				○		

【授業の内容】

1	発音母音	9	「我想去美国」 (私はアメリカへ行きたいです。)
2	発音子音	10	「在」の使方 (レストランはどこにありますか。)
3	発音鼻音	11	数の数え方 (今日は何曜日ですか。)
4	発音声調	12	表現・完了 「動詞+“了” (私はご飯を食いました。)
5	「我去中国」主語+動詞+目的語 (私は中国へ行きます。)	13	経験を表す“過” (私は北京へ行ったことがあります。)
6	「我是日本人」主語+“是”+目的語 (私は日本人です。)	14	助動詞会 (私は中国語がしゃべれます。)
7	「他很忙」主語+形容詞 (彼は忙しい。)	15	助動詞能 (私は踊ることができます。)
8	主語+動詞+人+物 (陳先生が来たので中国語を教えます。)		

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	・発音のチェック発表してもらおう。 ・作文の口頭発表をしてもらおう。
B：意見の表現・交換	○	
C：応用志向		
D：知識の活用・創造		

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	配布資料等の情報を必要に応じて予習する (15 時間)
事後学修	小テストや配布資料を用いて復習する (15 時間)

【教科書】

鈴木晶『やさしい中国語 基本文型と単語』、関東図書、2021年、1980円

【参考書】

園田茂人編『日中関係史 1972-2012 IV民間』、東京大学出版会、2015年

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5
発表	10%	○				
小テスト	20%		○	○		
期末テスト	60%					○
授業の取り組みの姿勢	10%				○	

【注意事項】 特になし。

【備考】

教員の実務経験の有無		
教員の実務経験		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		
授業形態	面接授業	